

## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 CKD株式会社

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 舟橋 典孝

TEL 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	23,604	24.6	2,249	47.9	2,309	45.9	1,590	48.7
27年3月期第1四半期	18,939	14.6	1,521	6.0	1,582	9.2	1,070	△10.0

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 1,989百万円 (144.7%) 27年3月期第1四半期 813百万円 (△59.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	25.53	—
27年3月期第1四半期	17.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	97,463	66,152	67.9
27年3月期	96,018	65,555	68.3

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 66,152百万円 27年3月期 65,555百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,400	11.0	4,400	28.1	4,400	26.1	3,100	39.4	49.64
通期	88,000	5.5	9,000	7.6	9,000	3.0	6,300	4.8	100.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	69,429,349 株	27年3月期	69,429,349 株
28年3月期1Q	7,413,006 株	27年3月期	6,977,294 株
28年3月期1Q	62,308,877 株	27年3月期1Q	62,452,463 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
4. 補足情報 .....	8
〔生産、受注及び販売の状況〕 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用の改善により個人消費が持ち直しました。更に円安などで企業収益も上向き、緩やかに回復いたしました。また、設備投資は政府の景気刺激策などもあり、製造業を中心に増加いたしました。

海外経済は、中国では国内の個人消費や不動産関連への投資が低迷したため、経済成長は減速いたしました。一方、米国では雇用の回復により個人消費が拡大し、改善が一段と進みました。欧州でも、ギリシャ問題の影響はありましたが、全体にわたり緩やかに回復いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高23,604百万円（前年同四半期比24.6%増）、損益面では、営業利益2,249百万円（前年同四半期比47.9%増）、経常利益2,309百万円（前年同四半期比45.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,590百万円（前年同四半期比48.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 自動機械部門

主力商品の薬品自動包装システムは、ジェネリック医薬品普及促進及び新薬関連への設備投資により、売上が増加いたしました。

また、三次元はんだ印刷検査機は、電子化が進む車載用基板向けの売上が増加いたしました。一方、リチウムイオン電池製造システムは、中国の環境対応車用設備計画が遅れ、売上は減少いたしました。

その結果、売上高は2,750百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益は311百万円（前年同四半期比452.6%増）となりました。

#### ② 機器部門

国内市場では、微細化への投資が進む半導体製造装置向け売上が増加いたしました。また、環境対応や電子化が広がる自動車業界向け、中国で工場新設が続くF P D製造装置向けなどの売上が増加いたしました。

海外市場では、半導体とF P Dの設備投資が好調だった東アジアと、景気の回復が進んだ米国で、売上が増加いたしました。

その結果、売上高は20,853百万円（前年同四半期比27.0%増）、セグメント利益は2,702百万円（前年同四半期比28.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,444百万円増加の97,463百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに売上債権が減少したものの、有価証券、たな卸資産、有形固定資産及び投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ848百万円増加の31,311百万円となりました。これは主に、仕入債務及び短期借入金並びに長期借入金が増加したものの、未払法人税等及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ596百万円増加の66,152百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少の67.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の予想につきましては、平成27年5月12日に発表いたしました業績予想からの変更はございません。

ただし、今後の国内及び海外経済は、概ね景気の緩やかな回復が続くと期待されるものの、為替レートの変動、欧米の景気動向、新興国の経済成長の減速、中東情勢の緊迫化などの外部リスクにも注視していくことが必要となります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

### (4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社（5社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD. については決算日を3月31日に変更し、喜開理（中国）有限公司、喜開理（上海）機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第1四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年6月30日までの6か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は3,019百万円、営業利益は149百万円、経常利益は141百万円、税金等調整前四半期純利益は130百万円であります。

また、セグメントに与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,750	10,545
受取手形及び売掛金	20,577	17,863
営業未収入金	1,938	2,192
有価証券	3,499	5,999
商品及び製品	4,363	5,566
仕掛品	3,229	2,768
原材料及び貯蔵品	11,712	11,997
その他	3,468	3,836
貸倒引当金	△33	△47
流動資産合計	60,507	60,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,537	10,466
その他(純額)	14,313	15,305
有形固定資産合計	24,851	25,772
無形固定資産	817	790
投資その他の資産	9,842	10,178
固定資産合計	35,511	36,741
資産合計	96,018	97,463
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,924	11,529
短期借入金	1,921	1,798
未払法人税等	681	955
賞与引当金	138	1,187
その他の引当金	302	282
その他	8,201	8,184
流動負債合計	23,170	23,938
固定負債		
長期借入金	3,490	3,360
退職給付に係る負債	206	218
その他	3,596	3,794
固定負債合計	7,292	7,372
負債合計	30,463	31,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,737
利益剰余金	40,611	41,389
自己株式	△4,557	△5,138
株主資本合計	59,807	60,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,453	2,670
為替換算調整勘定	3,371	3,592
退職給付に係る調整累計額	△77	△117
その他の包括利益累計額合計	5,747	6,146
純資産合計	65,555	66,152
負債純資産合計	96,018	97,463

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	18,939	23,604
売上原価	13,168	15,977
売上総利益	5,771	7,626
販売費及び一般管理費	4,250	5,377
営業利益	1,521	2,249
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	48	64
その他	84	68
営業外収益合計	141	144
営業外費用		
支払利息	11	15
売上割引	31	34
為替差損	17	25
その他	17	9
営業外費用合計	79	84
経常利益	1,582	2,309
特別利益		
固定資産売却益	0	15
補助金収入	—	66
特別利益合計	0	81
特別損失		
固定資産売却損	3	1
固定資産除却損	8	14
特別損失合計	11	16
税金等調整前四半期純利益	1,572	2,373
法人税、住民税及び事業税	597	951
法人税等調整額	△95	△168
法人税等合計	501	782
四半期純利益	1,070	1,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070	1,590

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,070	1,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	217
為替換算調整勘定	△407	220
退職給付に係る調整額	△7	△39
その他の包括利益合計	△257	398
四半期包括利益	813	1,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	813	1,989
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

当社は、平成27年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。この結果、自己株式は当第1四半期連結累計期間に580百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において5,138百万円となりました。

なお、平成27年7月7日をもちまして取締役会決議に基づく自己株式の取得を終了しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,519	16,420	18,939	—	18,939
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	48	48	△48	—
計	2,519	16,469	18,988	△48	18,939
セグメント利益	56	2,111	2,167	△646	1,521

(注) 1. セグメント利益の調整額△646百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△654百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,750	20,853	23,604	—	23,604
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16	16	△16	—
計	2,750	20,870	23,621	△16	23,604
セグメント利益	311	2,702	3,013	△764	2,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△764百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△772百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更に記載のとおり、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社（5社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD.については決算日を3月31日に変更し、喜開理（中国）有限公司、喜開理（上海）機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第1四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年6月30日までの6か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は機器部門で3,019百万円、セグメント利益は機器部門で149百万円であります。

## 4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
自動機械部門	4,877	+91.6
機 器 部 門	20,685	+23.8
合 計	25,562	+32.7

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 金額は、販売価格によっております。  
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 （百万円）	前年同四半期比 （％）	受注残高 （百万円）	前年同四半期比 （％）
自動機械部門	3,463	△24.2	9,274	△8.5

(注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同四半期比（％）
自動機械部門	2,750	+9.2
機 器 部 門	20,853	+27.0
合 計	23,604	+24.6

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。